

習志野台公民館 主催

平成23年度「地域講座」

習志野原の変遷・Part 2【第3回】

## 『習志野捕虜収容所』

～ドイツ人捕虜との交流物語～

日 時：平成23年9月4日（日）午前10:00～12:00

主催・場所：習志野台公民館 3階講堂

講師：鈴木 陸男

船橋市生涯学習インストラクターの会

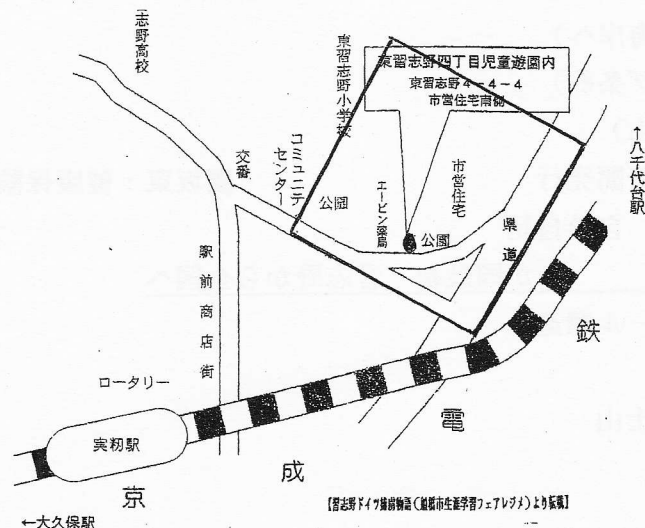
## ドイツ人捕虜との交流物語 そのきっかけは

- 平成 9(1997)年の夏 1本のボトルシップが市役所に持ち込まれた。
- 平成13(2001)年12月 1日 習志野市教育委員会編 『ドイツ兵士の見た日本』  
～～習志野捕虜収容所1915～1920～～  
丸善ブック 発行（品切れ）
- 平成15(2003)年 3月 1日 習志野市教育委員会発行 習志野市史研究 3  
『ドイツ捕虜収容所特集』
- 平成20(2008)年 5月27日 習志野市教育委員会 星 昌幸氏  
日本経済新聞『捕虜独兵オケの息吹』手記
- 同年 11月11日 習志野市東習志野四丁目児童公園内（東習志野4-4-4）  
に『ドイツ捕虜オーストラの碑』建立
- 同年 12月11日 毎日新聞千葉遺産『収容所兵士地元に託す』
- 同年 12月23日 毎日新聞『習志野捕虜収容所』交流 永遠に伝える碑

## ドイツ捕虜オーケストラの記念碑と捕虜収容所の場所

『ドイツ捕虜オーケストラの碑』にみる交流

習志野捕虜収容所の場所（旧・二宮村、記念碑案内図）



## わが国における捕虜収容所の歴史

1. 大正3(1914)年6月28日、セルビアの首都サラエボでオーストリア皇太子夫妻が暗殺されたことがきっかけで、1ヶ月後の7月28日第一次世界大戦が勃発した。
2. 日本は日英同盟の誼から、ドイツに宣戦を布告し、陸海軍合わせて7万余の大軍を、中国山島半島の青島を攻撃するために派遣した。青島はドイツが極東進出の拠点とした租借地の要の都市であったからである。
3. 同年11月、日本軍の猛攻の前に青島は没落し、約5000名の捕虜が日本に送られた。
4. 捕虜収容所

当初 16ヶ所			その後6ヶ所に集約	
久留米 (福岡)	名古屋 (愛知)	→	習志野	918 人
熊本 (熊本)	徳島 (徳島)		(東京・福岡・久留米・静岡・大分から)	
東京 (東京)	静岡 (静岡)		名古屋	509
姫路 (兵庫)	大分 (大分)		青野原	490
大阪 (大阪)	習志野 (千葉)		坂東	1,028
丸亀 (香川)	青野原 (姫路郊外)		似島	545
松山 (愛媛)	似島 (広島湾内)		久留米	1,136
福岡 (福岡)	坂東 (徳島)		計	4,626 人

## 習志野捕虜収容所の生活と交流

### 1. 収容所の規模

収容所の規模 総面積95,000㎡ 居住棟面積8,000㎡ 一人当り居住面積8.7㎡  
 バラック造り10棟 体操場・運動場・テニスコート三面

### 2. 収容所の期間 大正4(1915)年～大正9(1920)年 5年間の生活

### 3～4. 収容所所長 西郷 寅太郎

### 5. 生活と交流

開放 (洗濯物請負のため主婦が出入り、近所の肉やに買い物)

映画 (夜間屋外)

自由 (御滝不動に遠足他)

気晴らし (稲毛海岸へ)

給与支給 (ハーグ条約)

郵便 (通信の自由)

カメラ・労役・新聞発行

■坂東：健康保険組合

食品・飲み物 自給自足

ソーセージ わが国最初 習志野から全国へ

ワイン・ビール醸造

菜園

台風・地震・富士山

## 収容所の一日

音楽・演劇 オーケストラによる演奏会

ベートーベン、モーツァルト、シューベルト、ヨハン・シュトラウスの  
「美しき青きドナウ」ほか■坂東：日本における最初の『第九』演奏 大正 7年6 月1 日初演  
毎年6 月1 日を『第九』の日として演奏会

## スポーツ

サッカー・ホッケー

テニス

棒高跳び

人間ピラミット

■似島：大正8(1919) 年

日独サッカー大会

1 月26日広島高等師範

広島県立師範

高等師範附属中

◎ドイツ兵捕虜

10月 5日第八高等学校

明倫中学

◎ドイツ兵捕虜

## 6. 悲しい出来事 スペイン風邪

大正 7(1918)年秋 大流行 (同年11月ドイツの敗北で第一次大戦終結)  
フランスからイギリスへ 死者2500~5000万人とも (当時世界人口16億人)  
習志野では西郷所長と捕虜25名が死亡 死亡者はいまも船橋市宮習志野霊園  
昭和30(1955)年 日独国交回復を受けてドイツ兵士の慰霊碑除幕式 以後  
毎年同霊園で慰霊祭を挙行

当時の日本 人口5900万人 2500万人の患者 3万8 千人死亡

屈強な力士が大勢かかり場所が中止になったので大相撲風邪ともいわれた

## 7. 解放・帰国

大正 8(1919)年 ヴェルサイユ講和条約発効 順次帰国

大正 9(1920)年 1月26日 最後の総督 退去

4月 1日 習志野・名古屋・青野原・似島

・坂東の各収容所閉鎖

捕虜たちのその後 習志野時代

(1) ベヒトルスハイム男爵 福岡→習志野 海軍大尉

習志野時代 音楽会の夕べ メンデルスゾーンの歌曲 ゲーテの魔王

ドイツ民謡等で活躍 同家には習志野時代の遺品が多く残されている

(2) カール・ビュッティングハウス 福岡→大分→習志野

解放後千葉県出身の女性と結婚 目黒に東京で最初のソーセージ工場と店舗

後に神戸に進出 昭和20年の神戸空襲で店舗焼失 再建ならず

横浜・本牧の矢島八郎、ピュッティングの指導で自らハム・ソーセージ造りを手がけ、いまは三代目の孫が茅ヶ崎市で「ハム工房ジロー」を営んでいる。

(3) ハイブリット・ハム 東京→習志野

ワイン醸造マイスター 甲府市でワイン醸造を指導  
収容所時代に克明な日記 習志野市史研究3に掲載  
周囲から「ヤパーナ（日本人の意）」と呼ばれた

(4) ヘルムート・ケテル 東京→習志野

解放後会津出身の女性と結婚 昭和2(1927)年に東京・銀座並木通りにバー「ラインコールド」を開業 昭和5(1930)年にはその隣にドイツレストラン「ケテル」を開業 なお、「ケテル」は平成16(2004)年突然閉店

(5) アンドレーアス・マイレンダー 福岡→大分→習志野

遺された手紙（遺品）の束から、昭和40年代に70歳を過ぎたマイレンダーが、名古屋に住む日本の女子学生と文通をしていたことを示す手紙が発見された。

(6) ハンス・ミリエス 福岡→習志野

ミリエスが習志野時代に書き残した「閉じておくれ僕の眼を」の楽譜が、子孫の手で平成14(2002)年に習志野市に届けられ、市の依頼でソプラノ歌手鮫島有美子による演奏が実現した。

(7) フリッツ・ルンブ 熊本→大分→習志野

「浮世絵」「日本の演劇」「日本の民話」等日本に関する多数の著作を遺した。

(8) エミール・スクリバ 熊本→久留米→習志野

解放後は日本の会社に入社し、その後もビジネスマンとして活躍  
東京の青山霊園に本人、父、兄の墓標がある。

(9) ヨハネス・ユーパーシャル 東京→習志野

解放後、大阪医学専門学校に復職し、その後甲南大学で教授を務め、日本に永住した 神戸・再度山に墓

(10) オスカル・フォン・ヴェークマン 東京→習志野

解放後は松山高等学校でドイツ語を教え、松山の女性と結婚 陸軍士官学校  
陸軍大学でドイツ語を教え「日本の歴史」「日本の教育」等著作 終生日本

他に、**■ローマイヤー**（熊本→久留米・ロースハムの考案者・銀座にレストラン開業）

**■ユーハイム**（大阪→似島・バウムクーヘン・現在もドイツ菓子店）

## おわりに

- ⇒引用した参考資料 ①習志野市史3 ②習志野ドイツ捕虜物語(朝鮮生還習志野) ③青島から来た兵士たち(同学社) ④どこにしようと、そこがドイツだ(鳴門市ドイツ館)